

教職員による学校評価の分析(中面のグラフ参照)

- ・今年度より評価項目を一新し、「長井小 13 の取組」についての自己評価とその反省、意見、改善策等を述べてもらった。
- ・A+B(十分に達成と達成)の割合が8割を超えたのは、13項目中8項目である。1番達成度が高かったのが④「計算オリンピック 平均80点以上100%が達成できたか。」で、100%であった。
- ・1番評価が低かったのは、③「自主学习4冊以上が達成できたか。」で、約4割弱であった。保護者のアンケートでは、同様の項目は6割強である。教職員の改善策には、計画的に進められなかった、個人差に対応したい、内容にも踏み込みたいとある。今後の声かけや来年度に向けた取り組みせ方の工夫が必要である。
- ・2番目に評価が低かったのが、②「読書カード 平均30冊以上を達成できたか。」である。A+B(十分に達成と達成)が約6割になっている。保護者のアンケートでは、同様の項目は約8割である。進んで取り組む子と、そうでない子の差が激しく、意欲の低い子への担任の支援が最大の課題である。これは自主学习にも言えることである。学級や学年で、子どもたちに意欲をかき立てる有効な手立てを考え、年間を見通して継続的に取り組ませる方法を学校や担当から提示していく必要がある。
- ・ただ、調査の時期が12月であり、2月までのスパンで取り組んでいるものもあるので、その頃に再調査すればもっと達成度が上がるものもあると考えられる。
- ・「知」の項目に比べ、「徳」や「体」に関する項目は、自己評価が高かった。担当を中心に、年度末までには100%達成を目指して、取り組ませたい。

保護者による学校評価の分析(中面のグラフ参照)

- ・こちらも今年度より評価項目を一新し、「長井小 13 の取組」のうち、児童に取り組ませている9項目についての評価とその反省、意見、改善策等を述べてもらった。
- ・全体的に見ると、A+B(十分に達成と達成)の割合が約8割に達した項目は6項目である。
- ・1番評価が高いのが、⑧「毎日、朝食を食べます」を実践できましたか」で、約97%であった。昨年度までの同様の項目よりさらに3%上昇している。
- ・逆に評価が低くなっているのは、⑥「4つの実践」「3減運動」の達成率が95%以上になるように取り組めましたか」と⑦「体力貯筋を毎日やります」を実践できましたか」で、約6割強であった。こちらも前年度までの同様の項目と同じ結果となっている。学校と家庭で協力しなければ、成果がなかなか表れない項目であり、本校の課題となっている。担当が工夫し、取り組みの状況を定期的にチェックしたり、認め・励まし、継続させる取り組みを学級や学年で取り組んだりしないと、改善されないようである。
- ・このことから、知・徳・体のバランスのとれた子の育成のためには、長井小学校の保護者と手を組み、今まで以上に学校と家庭が協力し、改善策を示し、継続して取り組んでいかなければならないと考えられる。

学校関係者による評価(2月の学校評議員会より)

- ・校長先生を中心に、職員がよく子どもの指導に取り組んでいる様子がよくわかった。
- ・9つの取組の達成状況を聞くと、かなり成果が上がっていると感じた。
- ・授業が落ち着いてきている。学力向上の成果が目に見える。
- ・全体の前で発表するクラスが多かったが、声の小さい子が多かったのが気になった。そんな中で、6年生のキャリア教育の発表は、台本も用意せず上手だった。普段から、暗唱等で声を出す機会が多いからではないか。自分の発想を言葉に変える力がついてきている。
- ・5年生の米づくりについてのプレゼンテーションもよかった。コンピューターを使って、スライドを作成したり、発表したりするのは、社会に出てからも役立つので、いい取組だと思う。
- ・朝に限らず、地域の方にしっかりあいさつできる子になってもらいたい。
- ・読書30冊の取組に向けてがんばっているが、苦手な子は途中でやめてしまうから冊数が進まない。読書好きな子を増やすためにも、読み聞かせの時間を多くしてもらいたい。
- ・陸上フェスティバルや図工等でも、活躍できる児童の育成をお願いしたい。
- ・体力貯筋の成果が出るといい。